

わかりやすい予算書

ことしの予算

平成27年度版

亀山市

安楽川堤防治い(太森町)

204億

平成27年度一般会計予算

250万円

平成27年度予算は、本市の持続的成長と市民の暮らしの質(QOL)の向上を目指し、第1次亀山市総合計画の後期基本計画を着実に推進するとともに、限られた財源を有効かつ適切に活用し、歳入に見合った歳出の実現に向け、歳入の確保と歳出の削減に取り組む予算編成としました。

「新しい自治のしくみづくり」、「教育・子ども支援施策」の推進を重点とした予算を編成

平成27年度に取り組む主な事業として、まちの魅力や価値を高めるための亀山駅周辺市街地再開発推進計画策定事業や、子ども・子育て支援事業計画の推進を図る事業を進めるとともに、教育環境の整備として中部中学校クラブハウス建設事業などを実施していきます。また、関宿重伝建30周年記念事業として、20年に一度となる関宿東の追分の鳥居建替えを行うとともに、在宅医療連携システム「かめやまホームケアネット」の本格実施など地域包括ケアシステムの構築に取り組めます。



特別会計は、特定の目的のための会計で、特定の収入があり、一般会計と区別して収入・支出を経理する会計です。

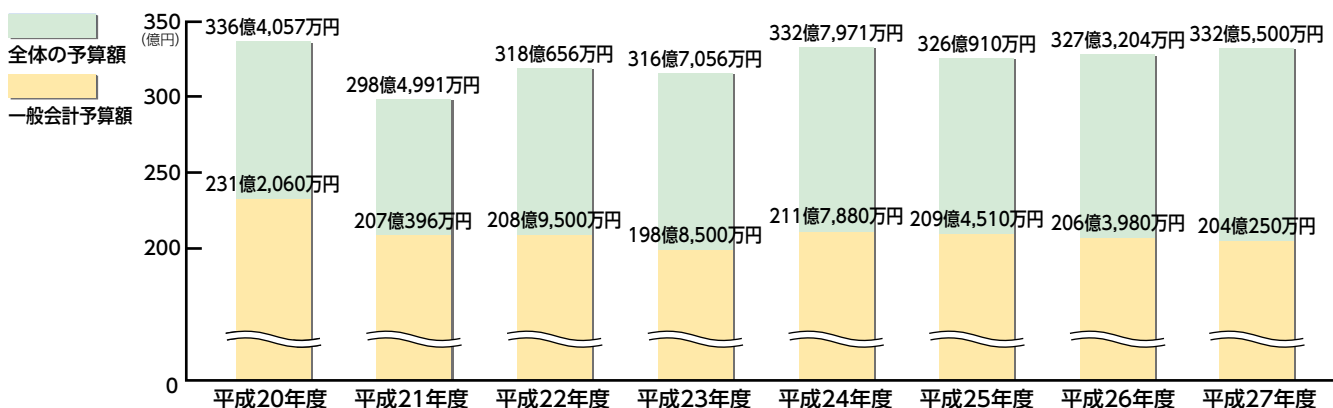
- ①国民健康保険事業 52億540万円(前年度比9.9%増)
- ②後期高齢者医療事業 8億6,230万円(前年度比0.2%増)
- ③農業集落排水事業 4億8,450万円(前年度比43.2%減)

企業会計は、民間企業と同じように事業収入によって運営する会計です。

- ①水道事業 17億7,730万円(前年度比3.1%減)
- ②工業用水道事業 8,910万円(前年度比28.6%減)
- ③病院事業 20億7,320万円(前年度比3.1%増)
- ④公共下水道事業 23億6,070万円(前年度比41.2%増)

※公共下水道事業は平成27年度より、特別会計から企業会計へ移行

○全体の予算額と一般会計予算額の推移



一般会計を

大解剖

一般会計とは、福祉や防災、道路、教育など市役所の基本的な仕事に関する収入と支出を管理する会計です。

総額

204億250万円

歳入

歳出

市税 100億9,300万円

市民税や固定資産税など

繰入金 15億872万円

貯金(基金)の取り崩し

諸収入 3億4,349万円

雑収入など

繰越金 5,000万円

前年度からの繰越金

その他 7億574万円

保育料や使用料など

* **自主財源**

市が自主的に収入できる財源

国庫支出金 20億4,778万円

国からの補助金など

地方交付税 17億2,100万円

財政力に応じて国から交付されるお金

市債 16億970万円

公共事業の財源とするために借りるお金など

県支出金 10億1,407万円

県からの補助金など

地方消費税交付金 8億7,300万円

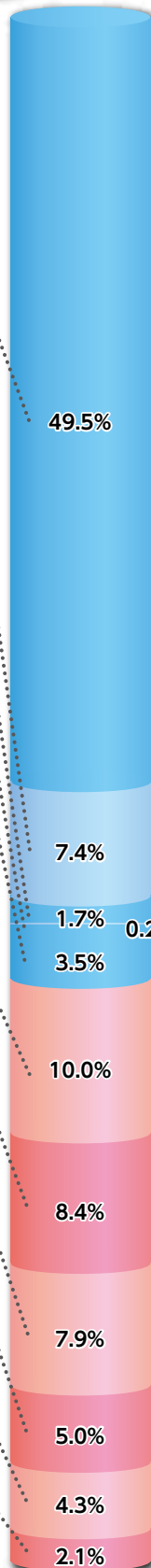
消費税のうち、地方分として市に配分されるお金

その他 4億3,600万円

地方譲与税など

* **依存財源**

国や県から定められた額を交付されたり、割り当てられたりする収入



自主財源
62.3%

依存財源
37.7%

民生費 61億4,406万円

障がい者や高齢者の福祉サービス、子育て支援、保育所、生活保護などに

衛生費 26億3,646万円

健康増進、疾病予防、環境保全、ごみ処理などに

土木費 24億245万円

道路、河川、公園などの整備に

総務費 23億6,777万円

庁舎や財産の維持管理、税金の徴収、戸籍管理、選挙、統計などに

公債費 22億6,626万円

借りたお金(市債)の返済に

教育費 21億1,716万円

学校教育、生涯学習、図書館、博物館などに

消防費 9億1,805万円

消防や火災予防などに

農林水産業費 7億1,632万円

農業、林業の振興などに

商工費 3億3,725万円

商業などに

議会費 2億8,437万円

議会運営などに

その他 2億1,235万円

基金積立金などに

30.1%

12.9%

11.8%

11.6%

11.1%

10.4%

4.5%

3.5%

1.7%

1.4%

1.0%

災害に強い都市を目指して

市民や地域などと連携し、防災力の一層の向上を図り、地震災害や風水害などに強いまちづくりを進めます。

橋梁長寿命化修繕事業

予算額 1億8,000万円

市民の安心・安全を守るため、平成23年度に策定した長寿命化修繕計画に基づき、市が管理している橋長15m以上の橋梁の補修を計画的に進めます。



地震対策・木造住宅補強事業

予算額 5,988万円

地震に起因する建物倒壊などによる人的被害を防止するために、木造住宅の耐震診断調査から耐震補強計画・耐震補強工事などにかかる一連の経費の一部を助成します。



まち守りプロジェクト

プロジェクト事業の総額

3億4,988万円（平成27年度）

舗装老朽化対策事業

予算額 7,300万円



市が管理している道路について、道路管理の平準化、コスト縮減を図るため、年次計画に沿って予防保全的な修繕を実施します。



森林環境創造事業

予算額 1,700万円

水源かん養機能や土砂災害防止機能などの森林の持つ公益的機能を発揮させるため、森林所有者から認定林業事業体が20年間の管理委託を受けた環境林について、間伐や植栽などの整備を進めます。

人にやさしい健康都市を目指して

みんなが健やかに幸福な暮らしを続けていけるよう、人にやさしい健康都市づくりを進めます。

がん検診推進事業

予算額 8,707万円

がんの早期発見と正しい知識の普及を図るため、各種がん検診の実施や啓発活動を行います。

【主な検診項目】

胃がん、肺がん、大腸がん、乳がん、子宮がん、前立腺がん



予防接種費用助成事業

予算額 730万円

感染症の重症化予防やまん延防止を図るため、各種予防接種の接種勧奨や費用助成を行います。

【主な助成対象ワクチン】

ロタウイルス、インフルエンザ、おたふくかぜ、水痘、成人用肺炎球菌など

三重大学亀山地域医療学講座支援事業

予算額 3,120万円

地域医療体制を強化するため、三重大学との寄附講座設置に関する協定を延長し、市立医療センターにおける診療体制の整備や総合医・家庭医の養成、本市をフィールドとした地域医療の研究への寄附を行います。

みんなな健康

プロジェクト

プロジェクト事業の総額

1億7,570万円（平成27年度）

介護予防事業

予算額 2,073万円

高齢者が健康寿命を延ばし、地域で生きがいを持って生活ができるようにするため、要支援・要介護状態に移行することがないように介護予防教室の開催などの取り組みを行います。



次のような取り組みも行います

地域包括支援事業

予算額 4,130万円

在宅医療連携システム「かめやまホームケアネット」の運用により、利用者の情報を医師や訪問看護師などで共有するなど、地域包括ケアシステムの構築に取り組みます。また、地域包括支援センターなどを通じて、高齢者のニーズや状態に応じた地域包括ケアを行います。



生活困窮者自立支援事業

予算額 1,992万円

生活困窮者自立支援法が施行されたことに伴い、生活困窮者の自立の促進を図るため、自立相談支援事業、住居確保給付金、家計相談支援事業、学習支援事業に取り組みます。

魅力的な都市空間を目指して

本市の持つ、交通の要衝としての強みや自然・歴史文化などの地域資源を活かし、まちの魅力を磨き上げ、快適で魅力ある都市づくりを進めます。

伝統的建造物群保存修理修景事業

予算額 4,000万円

国の重要伝統的建造物群保存地区である関宿において、伝統的建造物の修理などにかかる費用の一部に対して補助を行うとともに、今年度は、20年に一度となる東追分鳥居の建替え工事を実施します。



亀山駅周辺市街地再開発推進計画策定事業

予算額 3,500万円

JR亀山駅周辺のにぎわいや活性化を図り、利便性や安全性を向上させるために、地域とともに駅周辺の再生を目指した推進計画の策定を進めます。

まち磨きプロジェクト

プロジェクト事業の総額

2億6,243万円（平成27年度）

まちづくり観光推進事業

予算額 1,988万円

まちづくり観光を推進するため、市民やまちづくり観光推進アドバイザーとともに地域資源を活かしたモデルツアーを企画・開催します。また、三重県の首都圏営業拠点施設「三重テラス」において、本市の歴史や文化をテーマとしたイベントを開催し、市の魅力を発信するシティプロモーション事業を展開します。



次のような取り組みも行います

し尿処理施設長寿命化事業

予算額 2億9,590万円

稼動後まもなく28年が経過する亀山市衛生公苑の老朽化した主要な設備・機器を更新し、施設の長寿命化を図るため、今年度より、2カ年の継続事業として、基幹的設備改良工事を実施します。



東海道街道環境整備事業 (布気小野線)

予算額 3,350万円

亀山市歴史的風致維持向上計画に基づき、旧東海道の一部である太岡寺駅(市道布気小野線)における歩道整備を行うとともに、地域と協力して並木の景観創造に取り組みます。

地域生活交通再編事業

予算額 1億1,683万円



自主運行バスの運行を継続するとともに、地域公共交通計画に基づき、引き続き関係地域との協議を行い、バス路線の再編に向けた取り組みを進めます。



みえ森と緑の県民税市町交付金事業

予算額 940万円

「災害に強い森林づくり」、「県民全体で森林を支える社会づくり」を実現するために、みえ森と緑の県民税を財源とする市町交付金を活用し、里山・竹林生活環境保全支援事業や森と木材のふれあい事業などを実施します。

亀山薪能開催事業

予算額 669万円

市制施行10周年記念事業として、伝統芸能の裾野を広げ、他の関係機関などと連携し、市民がより身近に「能」に触れることのできる亀山薪能を開催し、優れた文化芸術に触れる機会を提供します。



子どもたちが輝く環境を目指して

本市の特色でもある「子育てにやさしいまち」の充実を図り、すべての子どもたちの笑顔を広げる取り組みを進めます。

川崎小学校改築事業

予算額 1億129万円

施設の老朽化とともに今後の児童数の増加に対応するため、校舎の改築に向けて実施設計を行い、造成工事およびプール解体工事に着手します。



学力向上推進事業

予算額 648万円

一人ひとりの「確かな学力」の向上を図るために、亀山市学校教育ビジョン、亀山市学力向上推進計画に基づき、学力調査などの実施と分析を行い、児童生徒の学力の課題を把握し、その改善に取り組みます。

子どもも輝きプロジェクト

プロジェクト事業の総額

3億5,772万円（平成27年度）

少人数教育推進事業

予算額 3,137万円

少人数による児童生徒へのきめ細かな指導を推進するため、小学校や中学校に講師を配置して、学校教育支援体制の充実を図ります。



福祉医療費助成事業(子ども)

予算額 3,200万円

子ども(中学生)にかかる医療費負担の軽減を図るため、通院・入院に要する医療費への助成を行います。

次のような取り組みも行います

中部中学校クラブハウス建設事業

予算額 1億3,632万円

生徒の学校生活環境の改善を図るため、中部中学校のクラブハウスを建設します。



応援します!

元気な地域づくり

防災・福祉・環境保全など地域づくりの幅広い分野において、共助の発揮が一層求められる中、人と人とのつながりを大切にした多様な主体による元気な地域づくりを促進します。

地区コミュニティセンター充実事業

予算額 1億3,245万円

活発な地域コミュニティ活動を展開し、活動拠点となる施設の整備・充実を図るため、関南部地区コミュニティセンターの建設を、市内産材を活用しつつ、平成28年3月の完成に向けて工事を進めます。

関南部地区
コミュニティセンター
(完成イメージ)



正面図(東側)



側面図(南側)

市民活動応援事業

予算額 643万円



市民活動応援制度の実施以来、今年度、初めての市民活動応援交付金を交付することから、一連のサイクルを経た制度全般の検証を行うとともに、一層の制度活用に向けて更なる周知を行います。

地域コミュニティのしくみづくり支援事業

予算額 616万円

引き続き、多様な主体が参画する包括的なしくみづくりに向けた取り組みの支援を行います。また、まちづくり協議会を設立した地域の更なる活動促進を図るため、地域活性化支援事業補助金による財政面からの支援を行います。



このほか、こんな事業にも取り組みます

公共下水道施設整備事業

予算額 8億9,617万円

公共下水道の水質保全を図るため、引き続き公共下水道の整備を進めます。

特定健康診査・特定保健指導事業

予算額 2,940万円

国民健康保険の被保険者に対し、内臓脂肪型肥満に着目した特定健康診査や特定保健指導を実施します。

病院総合情報システム更新事業

予算額 8,110万円

医療の質の向上や患者サービスの向上のために、現行システムであるフルオーダーリングシステム機能に、電子カルテ機能やフィルムレス機能を加えた、新しいシステムを導入します。



亀山家(市)

年収約400万円の
家計に例えると…
(市予算の1/5000)

平成27年度の一般会計予算を5,000分の1にして、家計簿に例えてみま
市の予算にはさまざまな種類の歳入と歳出があり、一般の家庭とは少し



諸手当が増えて助かったけど、これが続くとは限らないから、安心はできないね。



市税

市民の皆さんから納めていただいた税金。
市民税、固定資産税、
軽自動車税、たばこ税など

地方交付税

国税のうち市の取り分として
交付されたお金

譲与税・交付金

国税・県税のうち市の取り分として譲与・
交付されたお金

諸収入

延滞金、預金利子、貸付金元利収入、雑入
など

使用料・手数料

市営施設の使用料や住民票の写しの交付
手数料など

国庫支出金

国と市が共同で行う事業のために国が市
に支出したお金

県支出金

県が市に対して支出したお金

市債

市が国や銀行から借りたお金

繰入金

市の基金から引き出したお金

繰越金

前年度に残ったお金

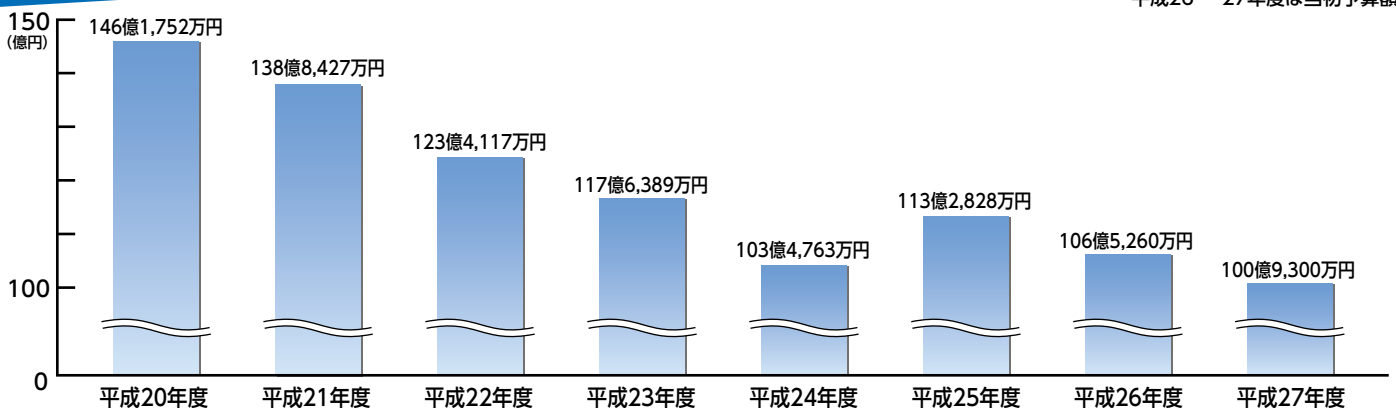
収入

26年度からの
増減

現金収入合計	345万円	(+1万円)
① 給料(基本給)	210万円	(-11万円)
② 給料(諸手当)	61万円	(+13万円)
③ パート収入	13万円	(0万円)
④ 祖父母からの仕送り	61万円	(-1万円)
⑤ ローン(借入金)	32万円	(-16万円)
⑥ 貯金の取り崩し	30万円	(+10万円)
⑦ 繰越金	1万円	(0万円)
収入合計	408万円	(-5万円)

市税収入の推移

平成20～25年度は決算額
平成26～27年度は当初予算額



の家計簿

した。
違った内容になっていますが、亀山家(市)の年間の家計簿をつくってみると…

支出

26年度からの
増減

生活費合計	284万円 (+14万円)	
食費	66万円 (0万円)	①
医療費	57万円 (-6万円)	②
光熱水費など雑費	109万円 (+21万円)	③
車などの修理代	10万円 (-2万円)	④
教育費	42万円 (+1万円)	
子どもへの仕送り	33万円 (-7万円)	⑤
ローンの返済	45万円 (-4万円)	⑥
家や庭の建築・改修	37万円 (-14万円)	⑦
貸付など	7万円 (+6万円)	⑧
貯金など	2万円 (0万円)	⑨
支出合計	408万円 (-5万円)	

人件費

市職員の給料や議員報酬など

扶助費

生活保護、障がい者支援、医療費助成など
福祉に使ったお金

物件費

光熱水費、消耗品費、業務委託料など

補助費等

報償費、負担金、補助金など

維持補修費

道路、公共施設を維持するために必要なお金

教育費には人件費や物件費、
普通建設事業費などが
含まれています。

繰出金

下水道事業や国民健康保険事業などの他の
会計への繰出金

公債費

市債の元金・利子や一時借入金の利子

普通建設事業費

道路・学校・庁舎など、公共・公用施設の新築・
改修に使ったお金

災害復旧事業費

大雨、暴風などの災害により被災した施設
を復旧するためのお金

貸付金

福祉増進や地域振興のために貸したお金

積立金

将来の財源変動に備えて積み立てたお金

ローンの返済があるなかで、子どもへの仕送りも必要だから大変なんだ。

これからは医療費が増えそうだから、食費や光熱水費など、できるところからきりつめないよね。

古くなった家や庭の改修も、よく計画してからやろう。



平成27年度の家計は...

収入では、昨年度に比べて基本給は少し減るものの、諸手当が増える見込みです。しかし、光熱水費など雑費の支出が増える見込みですので、収入が不足する分は、貯金の取り崩しなどにより補っています。

支出では、ローンの返済額や家などの改築・改修費は減ったものの、教育費や医療費などを含む生活費は増える見込みです。

このような中で、来年度以降も給料の減少が見込まれており、節電や節水に努めるのはもちろん、その他の出費についても無駄がないか徹底的に見直して節約します。また、貯金の取り崩しやローンの借入れを最小限にとどめるなど、家計の安定に向けてより一層の努力をしていきます。

家計簿をしっかりチェックして、収入に見合った支出を心がけないとね。



豊かな自然・悠久の歴史
光ときめく亀山



平成27年 1月11日
亀山市は「市制施行10周年」を
迎えました

平成27年度版 亀山市

わかりやすい予算書
ことしの予算

編集・発行 亀山市企画総務部広報秘書室
〒519-0195 三重県亀山市本丸町577番地
TEL 0595-82-1111(代) FAX 0595-82-9955
URL <http://www.city.kameyama.mie.jp>